

わがまち再発見!!

対馬市教育委員会 文化財課
☎0920(54)2341

対馬各地の地名

(大字編)

【美津島町雞知】

平安時代に朝廷がまとめた書物『和名類聚抄』に記載されている古い地名です。室町時代には介知、介智、慶知と表記されている古文書も残っています。由来については、神功皇后が黒瀬城山に登られた際に、遠くに鶏の声が聞こえたため、その地に赴いたところ、初めて民家を発見したため、この地を雞知と名付けたと伝えられています。

【美津島町洲】

古くは須茂、須毛とも書いていた古文書が見られます。『津島記事』では、樹木が多く繁ることから「巢棲之里」に「住まう里」が略されて「すも」と呼ばれるようになったと記されています。『美津島町誌』『角川日本地名辞典』などでは、洲藻川の堆積による砂州や砂

がはつきりしないと記してあります。ただ、ある説として「根山の根浦」という地形のうち「根浦」がなまり「ねほ」となったとの説を挙げています(浦という字は「ほ」とも読むため)。ただし『美津島町誌』では、この説は後世に「根緒」という字と「ねお」という読み方から逆算して作成された逸話である可能性がある」と指摘し、実際の由来は不明であると述べています。

【美津島町箕形】

『津島記事』では「黒瀬城(金田城のこと)の城付の兵が集る所を指し、味方と呼ばれていたのを、浦の形が箕に似ていることから箕形の字を当てるようになった」と説明しています。『角川日本地名辞典』では、塩田が開かれた浜を「御瀉」と称したため、それがなまり「みかた」となった可能性を伝えています。

浜が広がる様子と樹木が茂る地形が本来の語源であると推察しています。

【美津島町根緒】

『津島記事』には、語源

がはつきりしない



県指定史跡:サイノヤマ古墳(雞知)

つしま図書館情報

つしま図書館 ☎0920(52)3900

- H27年12月28日～H28年1月3日は、返却ボックスの利用をお控えください。返却は1月4日以降にお願いします。
- 近頃、破損・水濡れの状態で返却される本が目立っています。図書館の本の取り扱いには、充分ご注意ください。

1月の休館日

| 日 | 月 | 火 | 水 | 木 | 金 | 土 |
|----|----|----|----|----|----|----|
| | | | | | 1 | 2 |
| 3 | 4 | 5 | 6 | 7 | 8 | 9 |
| 10 | 11 | 12 | 13 | 14 | 15 | 16 |
| 17 | 18 | 19 | 20 | 21 | 22 | 23 |
| 24 | 25 | 26 | 27 | 28 | 29 | 30 |
| 31 | | | | | | |

休館日

今月のおすすめ新着本

『我が家のヒミツ』

奥田 英朗/著

『家日和』『我が家の問題』に続く、どこにでもいる平凡な家族のもとを訪れる、かけがえのない瞬間を描いた家族小説。

『十二支入り絵手紙年賀状』

花城 祐子/監修

十二支やだるまなど人気の縁起物。心温まる絵手紙で年賀状を描いてみたいという方にお勧めの一冊です。

『驚きの絶景 ここが日本!?!』

絶景トラベル研究会/著

「こんなところが日本にあったの?」と思わせるような絶景の写真と、解説とアクセスガイドが付いたガイドブックです。

『おふくさん』

服部 美法/作

おふくさんたちは、みんなで仲良く、ここに暮らしています。鬼がやってきても、おふくさんたちは怖がるどころか、笑わせようと考えます。

『鉄道いっぱい! 日本地図の本』

松本 典久/監修・文

日本のさまざまな地域や都道府県、ご当地の名所や名物、代表的な列車や主な路線の名前を分かりやすくまとめて紹介します!

『10代のための座右の銘』

大泉書店/著

夢や目標につき進むため、挫折にくじけず前を向くため、古今東西、多くの偉人たちの言葉をそれぞれのエピソードとともに紹介します。